

(評価)対象年度	令和 6 年度
編 成 区 分	当初
記 入 日	R5.9.15

**振興計画事業シート**  
**事務事業評価【事前】シート**

担当課	生涯学習課
課長名	竹内 睦生
担当者	谷山 忍

対 象 事 業 名	鯨賓館ミュージアム施設整備事業	(1000)
-----------	-----------------	--------

会計の選択	一般会計	ハード・ソフト・維持等の選択※2	ハード
新規・継続事業の選択	新規	政策評価の選択	評価対象(新規)
単独・補助・県営事業の選択※1	単独	総合戦略の選択※3	未計上
第2次総合計画の位置付け (体系表を確認し選択して下さい)	基本姿勢	3.	にぎわいを創る「交流のしま」
	分 野		—
	政 策	3-3.	歴史伝統文化を守り活かし伝えるまちづくり
	基本施策	3-3-①	歴史・文化の保存伝承

事業期間(選択)	継続事業				継続事業の場合				R6	年度	～	R12	年度
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計					
事業費(千円)	6,128	13,090	4,529	1,400	600	5,150	970	31,867					
国 費								0					
県 費								0					
起 債								0					
そ の 他								0					
一般財源	6,128	13,090	4,529	1,400	600	5,150	970	31,867					
補助金等名※4							補助率						

事業の目的 (誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果をえようとしているのか)	鯨賓館ミュージアムは令和4年12月で開館19年目を迎えた。ミュージアム、ホール関係のさまざまな設備も経年や塩害等による劣化や故障が著しい。 ミュージアム設備関係では、来館者の快適な室内環境づくり、展示物等の保管環境の確保、職場の業務環境改善を目的とする。ホール設備関係では、機器や設備を計画的に更新・改修することで、適正かつ安心安全に利用できる状態を担保することを目的とする。
事業の概要※5	<p>◆全体事業計画又は事務フロー</p> <p>令和6年度 ○ホール音響卓改修(工事請負費6,128千円)※期間変更【4→6年度】 令和7年度 ○ホール照明卓改修(工事請負費8,470千円)※期間変更【5→7年度】 ○ホール舞台機構設備ワイヤーロープ取替(工事請負費4,620千円)※期間変更【5→7年度】 令和8年度 ○ミュージアム入口ゲート改修(工事請負費4,529千円)※期間変更【6→8年度】 令和9年度 ○ホール舞台機構設備制御盤機器取替(工事請負費1,400千円)※期間変更【7→9年度】 令和10年度 ○ホール舞台機構設備操作盤機器取替(工事請負費600千円)※期間変更【8→10年度】 令和11年度 ○ホール舞台機構設備減速機潤滑油及びVベルト交換(工事請負費950千円)※期間変更【9→11年度】 ○ホールワイヤレスマイクシステム改修(工事請負費4,200千円)※期間変更【4→11年度】 令和12年度 ○ホール座席ストッパーゴム交換(工事請負費970千円)</p> <p>◆当年度事業計画</p> <p>14節 工事請負費 6,128千円</p>
その他 特記事項	

事業の必要性 (現状における問題点、その要因、今後の課題)	町内の文化活動の主要施設となっている鯨賓館は、建設より14年が経過し、ホール設備等に劣化が見られ、貴重な資料の保管状態にも悪影響を及ぼしている。施設を長く維持し、安全で安心して利用できるよう施設の機器・設備を計画的に更新・改修していく。
----------------------------------	--

成果 (活動) 指標	指標 (単位)	鯨賓館ミュージアムホールの利用者数 (人)				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	成果指標及び目標値の説明	ホール設備等を改修することで、利用者が安心して利用できる環境を整備する。				

2次 評価	事業の方向性	● 採択	所管案のとおり	事業のやり方改善	事業規模拡大
		不採択	事業規模縮小	事業統廃合	● その他
		一部不採択	企画不十分		
	評価理由	施設を長寿命化するために施設の維持管理は必要です。令和6年度に大規模改修できないか検討すること。緊急性があるものを除き、公共施設総合管理計画に基づき、管理コストの軽減、省エネ対策などを含めた効率の良い改修計画を作成ください。			

3次 評価	住民等の意見	
	町の対応	